

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

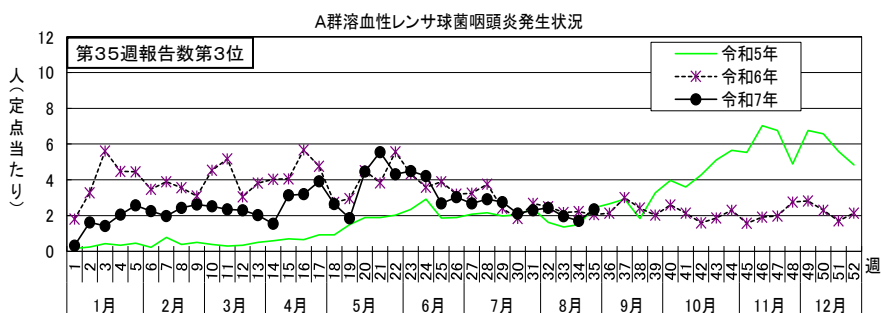
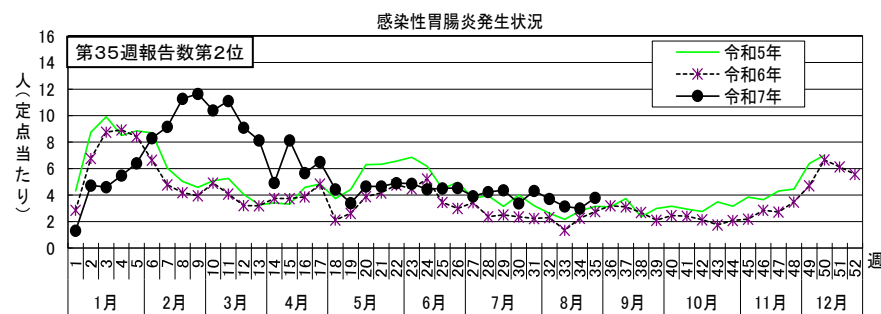
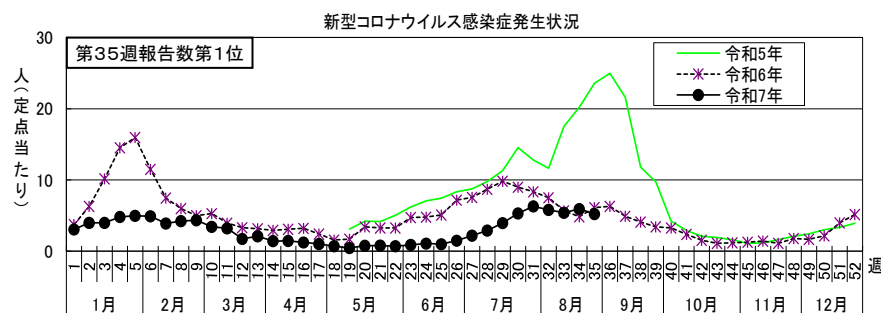
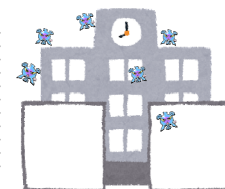
令和7年8月25日（月）～令和7年8月31日（日）〔令和7年第35週〕の感染症発生状況

第35週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）新型コロナウイルス感染症 2）感染性胃腸炎 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は5.20人と前週（5.93人）から横ばいでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.80人と前週（3.00人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.34人と前週（1.71人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。



インフルエンザによる学級閉鎖の報告がありました！

令和7年9月1日に、川崎市内の小学校から今シーズン初めてとなるインフルエンザによる学級閉鎖の報告がありました。また、市内定点医療機関からのインフルエンザの報告数も増加しており、令和7年第35週（8月25日～31日）に定点当たり0.47人となりました。区別では、高津区が定点当たり0.89人と最も多く、次いで川崎区が0.75人となっています。

インフルエンザの流行は学童を中心に始まり、その後高齢者等へと感染が拡大する傾向にあります。今後の流行状況に注意し、必要に応じてマスクの着用や手指衛生等の感染対策を徹底しましょう。

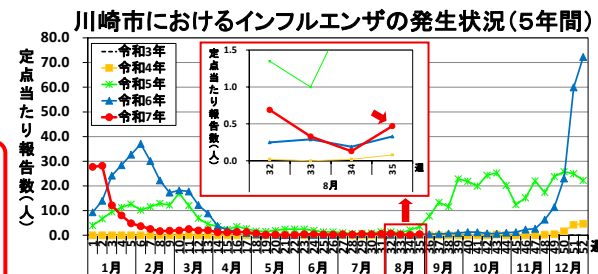
インフルエンザとは？

【感染経路】
飛沫感染、接触感染

【潜伏期間】
1～3日間

【主な症状】
発熱（通常38℃以上）、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等

【予防対策】
・マスクの着用
・十分な換気
・手洗いの徹底、手指消毒
・ワクチン接種



リアルタイムサーベイランスにおけるA型インフルエンザ分布マップ（令和7年9月1日）

